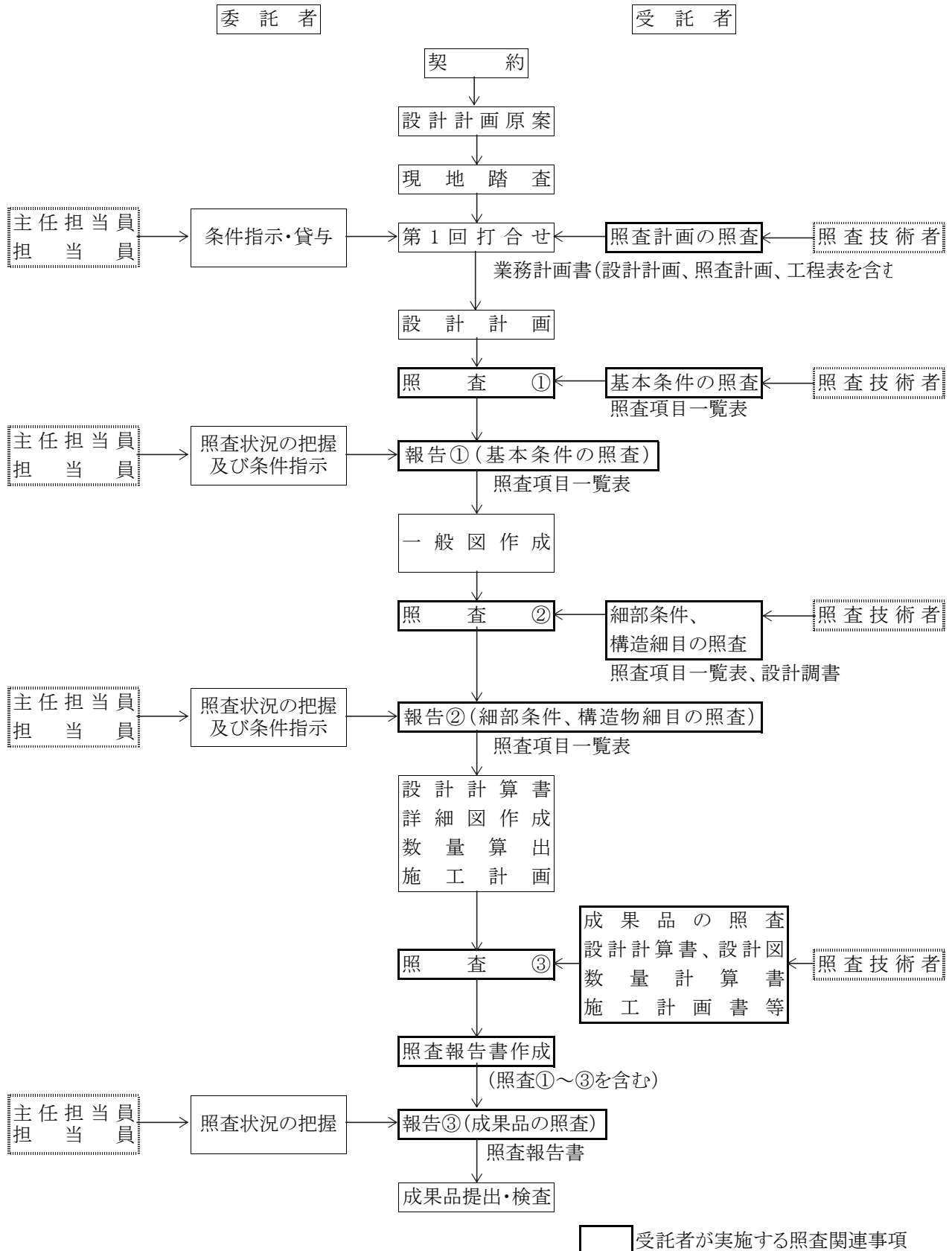


樋 門 補 修 ・ 補 強 詳 細 設 計 照 査 要 領

平成27年7月一部改定

北 海 道 建 設 部

樋門補修・補強詳細設計照査フローチャート



- 注記 1. 工程に関わる照査・報告①②③の時期は、業務計画書提出時に打ち合わせにより設定する。
 2. 委託者への照査の報告は、中間打ち合わせ時やEメール等を活用して報告する。

樋門補修・補強詳細設計

基本条件の照査項目一覧表 (照査 ①)

業務名：_____

委託機関：_____

受託者名：_____

照査の日付：_____

	照査技術者	管理技術者
受託者印		

基本条件の照査項目一覧表(様式－1)

樋門補修・補強詳細設計

No	項 目	主 な 内 容	提 示 資 料	照 査 ①		備 考 (照査の結果や確認事項を記入する)
				対 象	照 査	
1	設計の目的、主旨	1) 業務の目的、内容を理解したか。 2) 設計の項目、工程等について具体的内容を把握したか。 3) 問題点を把握しているか。	業務計画書 〃 〃	☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐	
2	貸与資料	1) 構造物施工時の資料について確認したか。 2) 貸与資料の不足はないか。 3) 事務所、河川毎に統一された基準、要領等があるか。 4) 既存資料(過年度点検結果、補修履歴、塗装履歴等)の有無について確認したか。 5) 過去の点検・調査・補修方法について確認したか。	打合せ資料 〃 〃 〃 〃	☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐	
3	現地踏査	1) 地形、地質、現地状況(河川区域、流況、河床、排水系統、現場周辺の土地利用、建物)を把握したか。(貸与資料との整合性確認も含む) 2) 交通状況、進入道路等、周辺道路状況を把握したか。 3) 環境状況(工事における振動、騒音等の配慮面)を把握したか。 4) 支障物件(地下埋設物、既設樋管との離れ等)の状況を把握したか。 5) 付帯施設の有無、旧施設撤去及び電力源等の有無を確認したか。 6) 法令、条件に関する調査の必要性があるか。 7) 出来上がりの環境面を配慮した自然環境、周辺環境を把握したか。 8) 隣接する家屋等の調査は必要ないか。 9) 施工時の留意事項を把握したか。	打合せ資料 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	
4	設計基本条件	1) 既設樋門の排水量を把握したか。 2) 既往調査結果(既設樋門の診断、構造物周辺堤防の安全性評価、重要点検箇所台帳等)を入手し、変状内容、変状原因を把握したか。 3) モニタリング結果を把握したか。 4) 変状の進行状況を確認したか。 5) 既設樋門の構造寸法及び鉄筋量を把握したか。 6) 基礎形式(杭基礎・直接基礎)を把握したか。 7) 操作室上屋の有無を確認したか。 8) 護岸タイプを把握したか。 9) ゲート等、機電設備の設計の有無を確認したか。 10) ゲートの設計水位、操作水位を確認したか。 11) 仮締め切り等の条件を確認したか。	設計図書・打合せ資料 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	

基本条件の照査項目一覧表(様式－1)

樋門補修・補強詳細設計

No	項 目	主 な 内 容	提 示 資 料	照 査 ①		備 考 (照査の結果や確認事項を記入する)
				対 象	照 査	
5	河道条件	12) 設計水圧の方向を確認したか。	設計図書・打合せ資料	☐	☐	
		13) 測量調査の不足は無い。基準点やベンチマークに問題は無い。	〃	☐	☐	
		14) 地下埋設物・占用物件に関して、調査や整理がされている。	〃	☐	☐	
6	地盤条件	1) 本川及び支川の河道改修計画(暫定計画、将来計画)を把握したか。	設計図書・打合せ資料	☐	☐	
		2) 本川、支川の計画平面、縦断、横断形を把握したか。	〃	☐	☐	
		3) 堤防の定規断面を把握したか。(計画断面、施工断面)	〃	☐	☐	
7	地形条件	1) 地層構成の把握は妥当か。	設計図書・打合せ資料	☐	☐	
		2) 土質定数の設定は妥当か。	〃	☐	☐	
		3) 支持力、地盤バネ値の設定は妥当か。	〃	☐	☐	
		4) 地下水位等の設定は妥当か。	〃	☐	☐	
		5) 追加調査の必要性はないか。	〃	☐	☐	
		6) 軟弱地盤として検討する必要性を確認したか。 (圧密沈下、液状化、地盤支持力、法面安定、側方移動等)	〃	☐	☐	
8	設計震度	7) 地質調査孔の位置、高さ、箇所数は妥当か。	〃	☐	☐	
		1) 用地境界を確認したか。	設計図書	☐	☐	
9	使用材料	2) 施工ヤード、スペースは確認したか。	〃	☐	☐	
		1) 地盤種別は妥当か。	打合せ資料	☐	☐	
10	施工条件	2) 設計水平震度は妥当か。	〃	☐	☐	
		1) 使用材料と規格(市場性、経済性を含む)及び許容応力度の確認したか。	打合せ資料	☐	☐	
		2) 特殊材料の供給条件は確認したか。	〃	☐	☐	
		3) 現場条件から使用材料に制約があるか。	〃	☐	☐	
		1) 施工上の制約条件を確認したか。(スペース、交通条件、水の切廻し)	設計図書・打合せ資料	☐	☐	
		2) 工事時期を確認したか。	〃	☐	☐	
		3) 既存資料を確認したか。	〃	☐	☐	
		4) 環境条件を確認したか。	〃	☐	☐	
		5) 旧施設の撤去条件を確認したか。	〃	☐	☐	
		6) 周辺の土地利用状況及び工事用道路としての使用可否を把握したか。	〃	☐	☐	

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

樋門補修・補強詳細設計

[illegible]

基本条件の照査項目一覧表(様式－1)

(追加項目記入表)

No	項 目	主 な 内 容	提 示 資 料	照 査 ①		樋門補修・補強詳細設計 備 考 (照査の結果や確認事項を記入する)
				対 象	照 査	

樋門補修・補強詳細設計

細 部 条 件 の 照 査 項 目 一 覧 表
(照 査 ②)

業 務 名 : _____

委 託 機 関 : _____

受 託 者 名 : _____

照査の日付: _____

受託者印	照査技術者	管理技術者

細部条件の照査項目一覧表(様式－2)

樋門補修・補強詳細設計

No	項 目	主 な 内 容	提 示 資 料	照 査 ②		備 考 (照査の結果や確認事項を記入する)
				対 象	照 査	
1	一般図	1) 一般図は妥当か。 (様式－1設計基本条件との整合が図られているか)	設計図書	☐	☐	
2	補修・補強対策(全般)	1) 対策工法は、変状特性や施工条件を考慮して選定したか。 2) 対策工法は、新技術、新工法の動向を把握した上で選定したか。	設計図書・打合せ資料 〃	☐	☐	
3	本体部	1) 函体のクラックに対する対策工法は妥当か。 2) 本体の不同沈下に対する対策工法は妥当か。 3) 本体の側方変位に対する対策工法は妥当か。	設計図書・打合せ資料 〃 〃	☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐	
4	継手部	1) 継手部の開口に対する対策工法は妥当か。 2) 継手増設を行なった場合の配置は妥当か。	設計図書・打合せ資料 〃	☐ ☐	☐ ☐	
5	門柱・操作台部	1) 門柱のクラックに対する対策工法は妥当か。 2) 門柱の傾斜に対する対策工法は妥当か。 3) 操作台の拡幅を行なった場合の必要スペース及び鉄筋の継足し方法は妥当か。	設計図書・打合せ資料 〃 〃 〃	☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐	
6	翼壁部	1) 翼壁の開口、目違いに対する対策工法は妥当か。	設計図書・打合せ資料	☐	☐	
7	地盤の補強対策	1) 地盤補強の必要性は明確か。 2) 対策工法は、変状特性、地盤特性及び施工条件等を考慮して選定したか。 3) 対策工法は、新技術、新工法の動向を把握した上で選定したか。 4) 地盤補強工は、柔支持基礎となっているか。	設計図書・打合せ資料 〃 〃 〃 〃	☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐	
8	施工計画	1) 施工期間(夏期・冬期)を確認したか。 2) 施工時期の設定は妥当か。(サケ、マス等の遡上時期や農作物の収穫時期への影響など関係機関と協議しているか) 3) 施工手順は妥当か。施工ヤードは確保できるか。 4) 仮締切堤の構造、高さは妥当か。 5) 地下水位の設定は妥当か。 6) 地下水対策は妥当か。 7) 水路の切廻しの安全性は妥当か。	設計図書・打合せ資料 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	

細部条件の照査項目一覧表(様式－2)

樋門補修・補強詳細設計

No	項 目	主 な 内 容	提 示 資 料	照 査 ②		備 考 (照査の結果や確認事項を記入する)
				対 象	照 査	
		8) 工事用道路(長尺物等の搬入)の経路は妥当か。	設計図書・打合せ資料	☐	☐	
		9) 掘削法面の形状は妥当か。	〃	☐	☐	
		10) 環境対策(騒音、振動等)は妥当か。	〃	☐	☐	
		11) 建設副産物の処理方法は適正か。リサイクル計画書を考慮したか。	〃	☐	☐	
		12) 資材調達は一社独占とならないか。(複数メーカーによる供給が可能か。)	〃	☐	☐	
		13) 水替え及び濁水処理の検討は適切か。	〃	☐	☐	
		14) 仮締切堤設置後の本川の流下能力は考慮されているか。	〃	☐	☐	
		15) 流下能力不足に対する対策は妥当か。	〃	☐	☐	
		16) 旧施設の撤去方法は妥当か。	〃	☐	☐	
		17) 仮設道路の路面材は適切か。	〃	☐	☐	
		18) 防寒養生、冬期加熱開始日を確認したか。	〃	☐	☐	
		19) トラフィカビリティを確認したか。	〃	☐	☐	
		20) 想定する運搬経路上にDID地区が該当するかを確認したか。	〃	☐	☐	
		21) 施工機械の選定は妥当か。	〃	☐	☐	
		22) 工程計画を設定したか。	〃	☐	☐	
		23) 稼働率は考慮されているか。	〃	☐	☐	
		24) 工法の選定については、経済比較などを行い、妥当な工法となっているか。	〃	☐	☐	
9	コスト縮減	1) 新技術情報システム及び、NETISに登録されている新技術・新工法について北海道の採用実績等も含めて可能性を検討したか。	打合せ資料	☐	☐	
		2) コスト縮減の検討を行ったか。	打合せ資料	☐	☐	
10	建設副産物対策	1) 建設副産物の処理方法は適正か。	打合せ資料	☐	☐	

成果品の照査項目一覧表(様式-2)

(追加項目記入表)

樋門・樋管詳細設計

No	項 目	主 な 内 容	提 示 資 料	照 査 ③		備 考 (照査の結果や確認事項を記入する)
				対 象	照 査	

樋門補修・補強詳細設計

成果品の照査項目一覧表
(照査③)

業務名：_____

委託機関：_____

受託者名：_____

照査の日付：_____

	照査技術者	管理技術者
受託者印		

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

樋門補修・補強詳細設計

[illegible]

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

樋門補修・補強詳細設計

No	項 目	主 な 内 容	提 示 資 料	照 査 ③		備 考 (照査の結果や確認事項を記入する)
				対 象	照 査	
3	数量計算	1) 数量計算は数量算出要領及び打合せ事項と整合しているか。 (工種分類、有効数字、位取り、単位、区分等)	数量計算書	☐	☐	
		2) 数量計算に用いた寸法、記号は図面と一致するか。	//	☐	☐	
		3) 工事数量総括表が正しく整理されているか。	//	☐	☐	
		4) 数量取りまとめは、数量算出要領及び打合せ事項にあわせてまとめられているか。また、転記ミスや集計ミスはないか。	//	☐	☐	
		5) 数量計算の根拠となる資料(根拠図等)は作成しているか。	//	☐	☐	
		6) 施工に際する必要資材は計上しているか。	//	☐	☐	
		7) 使用する材料の規格及び強度等は記入されているか。	//	☐	☐	
		8) 施工を考慮した数量計算となっているか。	//	☐	☐	
		9) 工種、種別、細目は工種別体系と一致しているか。	//	☐	☐	
		10) 工種・細目ごとに数量計算の照査がなされているか。	//	☐	☐	
		11) 見積が必要な項目について、見積もり条件、見積もり数量等は整理されているか。	//	☐	☐	
		12) 特殊材料の供給方法は、確認したか。	//	☐	☐	
		13) 既設撤去数量(コンクリート、鋼材、舗装等)は計上されているか。	//	☐	☐	
4	施工計画検討	1) 施工方法、施工手順は妥当か。	施工計画書	☐	☐	
		2) 施工ヤード、施工スペースの設定は妥当か。	//	☐	☐	
		3) 工事用道路、仮排水等の計画は妥当か。	//	☐	☐	
		4) 複数年施工の場合、暫定形状の検討は行ったか。 また、完成計画との整合はとれているか。	//	☐	☐	
		5) 施工時の道路、河川等の切り廻し計画は妥当か。	//	☐	☐	
		6) 施工形態に合った機械の種類、規格は妥当か。	//	☐	☐	
		7) 安全性(仮設も含めて)が配慮されているか。	//	☐	☐	
		8) 経済性(仮設も含めて)が配慮されているか。	//	☐	☐	
		9) 関係法令を遵守した計画になっているか。	//	☐	☐	
		10) 工事時の周辺環境への影響は配慮されているか。	//	☐	☐	
		11) 資材調達は、1社独占とならないか。(複数メーカーによる供給が可能か)	//	☐	☐	
		12) 建設副産物の処理方法は適切か。リサイクル計画書を考慮したか。	//	☐	☐	
		13) 足場工、支保工、仮設備等は妥当か。	//	☐	☐	
		14) 支保工撤去時などを含む施工中の構造安定性に配慮したか。	//	☐	☐	
		15) 柔構造においては、動態観測要領に基づく計器設置提案をしたか。	//	☐	☐	
		16) 濁水処理の検討は適切か。	//	☐	☐	

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

樋門・樋管詳細設計

No	項 目	主 な 内 容	提 示 資 料	照 査 ③		備 考 (照査の結果や確認事項を記入する)
				対 象	照 査	
5	報告書	1) 報告書全体の構成はわかりやすく整理されているか。 2) 業務概要は適切に記載されているか。 3) 設計条件の考え方は整理されているか。 4) 比較、検討の結果が解りやすく整理されているか。 5) 概算工事費の算出はなされているか。 6) 施工手順を明記しているか。 7) 工事発注に際しての留意事項、注意事項及び指定すべき仕様・条件等が記載されているか。 8) 抜粋した資料や適用基準値を技術指針等により引用している場合、出版図書名及び頁を明記しているか。 9) 設計で使用した既存成果や資料が添付されているか。 10) 過年度の調査や設計の経緯が記載されているか。 11) 協議事項は適切に反映されているか。	報告書 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	
6	建設副産物対策	1) リサイクル計画書を作成しているか。	リサイクル計画書			
7	改正土壤汚染対策法	1) 全体計画における土地の形質の変更面積が3,000m2以上であるか 確認し、確認結果を報告書に記載したか。 2) 一定規模(3,000m2以上)の土地の形質の変更に該当する場合、 土壤汚染対策法第4条に基づく届出が必要であることを報告書に 明記したか。	報告書 〃	☐ ☐	☐ ☐	
8	TECRISの登録	1) TECRISの登録を行ったか。	登録内容確認書	☐	☐	
9	成果品	1) 契約時の提出成果品一覧表と整合しているか。	成果品	☐	☐	

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

(追加項目記入表)

樋門・樋管詳細設計

No	項 目	主 な 内 容	提 示 資 料	照 査 ③	備 考
				対 象 照 査	(照査の結果や確認事項を記入する)